

だい がくねん こくごか  
第5学年 国語科

まつさかしりつまつえしょうがっこう  
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- ・筋道立てで考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え方を広げることができるようになる。
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

しょくぎょうざい 使用教材		
きょうかしょ 教科書	こくご ご ぎんが 「国語五 銀河」	(みつむらとしょ 光村図書)
	しょうがくしょしゃごねん 「小学書写五年」	(にほんぶんきょうしゅっぽん 日本文教出版)
ふくきょうざい 副教材	かんじ 漢字ドリル・らくらくノート漢字	(しんがくしゃ 新学社)
	かんじ ちから 漢字の力だめし	(しんがくしゃ 新学社)
	よむYOMUワークシート	(よみうりしんぶんしゃ 読売新聞社)

ももの 持ち物		
きょうかしょ 教科書	ノート	かんじ 漢字ドリル
らくらくノート漢字	こくごじてん 国語辞典	かんじじてん 漢字辞典
しゅうじじどうぐ 習字道具	タブレット	

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう  
【学習内容】(☆は書写)

前 期	後 期
<p>1. なまえつけてよ</p> <p>○きいて、きいて、きいてみよう</p> <p>2. 見立てる／言葉の意味が分かること</p> <p>○日常を十七音で</p> <p>○みんなが過ごしやすい町へ</p> <p>○本は友達 作家で広げるわたしたちの読書 カレーライス</p> <p>3. たずねびと</p> <p>☆書くしせいと用具のあつかい方</p> <p>☆字形を整えるポイント</p> <p>☆点画の組み立て方「春」</p> <p>☆部分の組み立て方「道」</p> <p>☆内外の組み立て方</p> <p>☆自分の文字と向き合って</p> <p>☆ほ先の動きと点画のつながり「成長」</p> <p>☆ほ先の動きと点画のつながり「もえぎ」</p>	<p>○よりよい学校生活のために</p> <p>4. 固有種が教えてくれること</p> <p>5. やなせたかしーアンパンマンの勇気</p> <p>○あなたは、どう考える</p> <p>6. 想像力のスイッチを入れよう</p> <p>○伝わる表現を選ぼう</p> <p>○この本、おすすめします</p> <p>○提案しよう、言葉とわたしたち</p> <p>7. 大造じいさんとガン</p> <p>☆書く速さのちがい</p> <p>グラフや表を用いて書こう</p> <p>☆文字の大きさ「読む」</p> <p>☆配列「実りの秋」</p> <p>☆言葉を増やして、表現力を高めよう。</p> <p>☆書きぞめ「心を開く」「美しい空」</p> <p>☆五年生のまとめ「出発」</p> <p>☆自分の力で「前進」「わらべ歌」</p>

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法					
技 能 う ・ 知 識 ・	言葉	文字を丁寧に書く。(書写)	書写の作品(毛筆・硬筆)	ノート	漢字ノート	漢字ドリル	
		習った漢字を正しく書く。	単元テスト	漢字小テスト	ワークシート	ノート	漢字ノート 漢字ドリル
		ことばのきまりが分かる。	単元テスト	ワークシート	ノートのまとめ方	かた	
思 考 ・ 表 現 ・ 判 断	話す	筋道をはっきりさせて話す。 思いや考えが伝わるように音読する。	発言・発表	じゅぎょうとう ようす	授業の様子	スピーチ	
		話し手の意図を考えながら聞く。	じゅぎょう	おんどく	おんどく	おんどく	音読カード 音読テスト
	聞く	自分の考え方や行動を豊かに表現する。	はつげん	はっぴょう	じゅぎょう ようす	単元テスト(聞くテスト)	ノートのまとめ方
		内容を正確に読み取る。	さくぶん	かた	ふりかえり	ワークシート	単元テスト
取 り 組 む ・ 態 度 に	態度	主体的に国語の学習にとりくむ。 ・進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げようとしたりしている。 ・学習したことや経験したことを活かして考えている。 ・学習したことをふまえて、次の課題を見つけたり、考えたりする。 ・これから学ぶことの予習をする。	はつげん	はっぴょう	じゅぎょう ようす	読書の記録	スピーチ 作文 ふりかえり ノートのまとめ方
		自主学習	じしゅがくしゅう	かた			